

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 52	提案機関名 かながわ西湘農業協同組合
要望問題名 重イオンビームを利用した温州みかん・柑橘類の品質向上対策等について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 近年の気候により温州みかんでの浮皮等が当管内で問題になっている。そこで突然変異体が効率的獲得できるとされている重イオンビームを利用し浮き皮しにくい果実の研究と個体選抜。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	足柄地区事務所研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) I-1 (1) 特産品となる新たな品種の育成 オ カンキツの新品種育成		
対応の内容等	‘大津4号’は当県の主力品種であり、現地では浮皮が問題になっています。 一方で、同様に浮皮が問題になっている‘青島温州’については、静岡県果樹研究センターと、独立行政法人理化学研究所との共同研究で、浮皮の少ない‘青島温州’の育種を、重イオンビームを照射する手法でおこなっており、一定の成果が出ています。 当手法を利用した育種は問題解決のための一つの手法であると思われるので、共同研究で実施します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考	静岡県では2001年に重イオンビームを照射した苗が、現時点でまだ品種となっていないことから、本研究を実施した場合も、同様に育成には長い年数がかかると思われます。		